

【在宅医療推進事業について】

参考資料

1. 在宅医療スタートアップ支援事業 (H29～)

【概要】

在宅医療の開始・拡充を検討している医師及び医師と連携する訪問看護師等を対象に、在宅医養成研修(座学)を開催した。また、座学研修を受けた医師から希望者を募り、在宅医療の実績が豊富な診療所への同行訪問や、経営支援を行うアドバイザー派遣を実施した。

【成果】

県内の5市(千葉・船橋・香取・佐倉・流山)で座学研修を開催し、合計応募者150名、修了者106名(うち医師41名)と、当初定員135名を上回る参加があった。

研修後のアンケートでも88%の参加者が満足、約半数の参加者が在宅医療を開始/拡充予定と回答した。医師を対象とした同行訪問・アドバイザー派遣は年度末まで順次実施している。

	医師	看護師	その他	総計
千葉	19 (11)	11 (8)	16 (10)	46 (29)
船橋	17 (11)	9 (7)	16 (14)	42 (32)
香取	8 (6)	9 (9)	2 (2)	19 (17)
佐倉	10 (8)	1 (0)	5 (2)	16 (10)
流山	6 (5)	3 (3)	18 (10)	27 (18)
総計	60 (41)	33 (27)	57 (38)	150 (106)

← 座学研修の参加者数
カッコ内は修了者数

【香取海匝区域での取組】

平成30年度の地域研修(定員15名想定)を、県立佐原病院を会場として実施し、医師8名を含む19名の参加をいただいた。

※内訳率は端数処理のため合計が100%にならないことがある⇒

	非常に満足	満足	普通	やや不満	不満	総計
総合的満足度	39 (11) 40% (37%)	47 (17) 48% (57%)	9 (0) 9% (0%)	2 (2) 2% (7%)	0 (0) -	97 (30)
	開始/拡充予定	検討中	予定なし	総計		
事業拡充予定	33 (11) 44% (44%)	28 (9) 37% (36%)	14 (5) 19% (20%)	75 (25)		

← 座学研修の満足度調査結果
カッコ内は医師の回答

【在宅医療推進事業について】

2. 地域在宅医療体制構築支援事業 (H30～)

【概要】

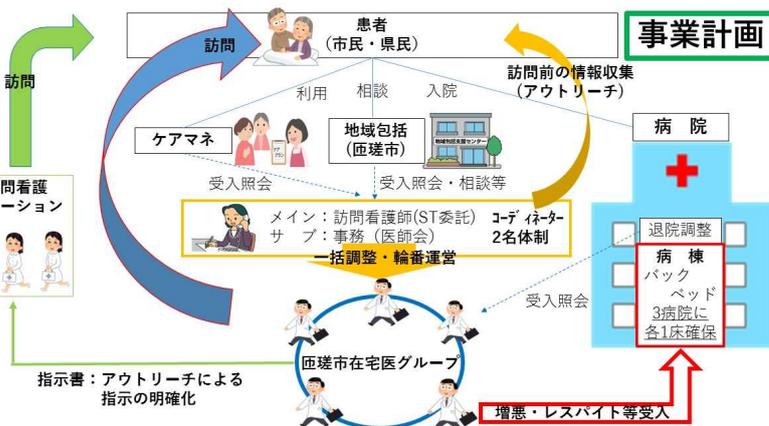
県内の地区医師会が、それぞれの地域において、地域の実情にあった在宅医療提供体制の整備を進めるために行う具体的な取組に対して、県から助成を行う。

取組内容：「在宅医同士の連携体制」・「夜間や休日の対応体制」・「入院から在宅への繋ぎの体制」等の構築
「多職種間情報の共有支援」・「在宅医増加に向けた取組」※太字下線は必須取組・それ以外は任意

補助基準：上記の具体的な取組の実施に要する費用について、1年度あたり600万円・3年度連続を上限に助成する。

【香取海匝区域での取組】

平成31年度から、旭匠医師会による事業実施が予定されており、申請に向けた準備を進めていただいている。



【予定されている取組】

- 匠瑛市内在宅医グループによる輪番制
- 地域病院におけるバックベッドの確保
- かかりつけのいない退院患者に対する在宅への繋ぎの支援
- 情報共有システムの運営

等